

ボラマガ

～ボランティアセンターマガジン～

令和4年8月15日号

第56号

発行 社会福祉法人 神栖市社会福祉協議会 ボランティアセンター

〒314-0121 神栖市溝口1746番地1

TEL : 0299-93-1029 FAX : 0299-92-8750

ホームページ <https://www.kamisushakyo.jp>

※ホームページでは、この広報紙に掲載している写真をカラーでご覧になれます

メールアドレス info@kamisushakyo.jp



須田小学校
(高齢者疑似体験)



須田小学校
(高齢者疑似体験)

神栖市内で活動するボランティア

サタデーズ



息栖小学校
(アイマスク体験)



息栖小学校
(車いす体験)

写真左上から時計回りに代表の沖田さん、高森さん、望月さん、平山さん

ボランティアグループ「サタデーズ」の設立は平成7年。今年の3月で結成27周年を迎えました。発足のきっかけは、平成7年2月に神栖町社協（当時）が開催したボランティア入門講座です。“自分たちでも何か社会のために役立ちたい”と意気投合した参加者同士でグループを立ち上げました。結成当時はメンバー全員が仕事を持っていたため活動が土曜日に限られることから、グループ名を『サタデーズ』と名付けました。

活動内容は市内外の高齢者施設や障害者施設、児童館などでの各種行事のお手伝いや居室などの清掃、外出する際の介助ボランティアなど、幅広く展開しています。しかし、新型コロナウイルス感染拡大の影響は活動にも支障をきたしていました。今回、代表の沖田さんにコロナ禍でのボランティア活動についてお話を聞かせていただきました。

現在メンバーは15名。毎月第2土曜日には定例会を開催し活動の調整やメンバー同士のコミュニケーションを図っていましたが、コロナの影響で定例会も開催できず、ボランティア活動そのものが展開できない状況でした。しかし、メンバーの活動に対するモチベーションは落ちなかったと言います。「この状況になってしまったのは誰が悪いというわけではない。自分たちがやれる活動をやっていこう」とメンバー同士で声を掛け合って、こんな状況だからこそ前向きに物事を捉えていくことが必要だと感じたそうです。

今年度、神栖市社協で福祉教育出前講座（車いすや高齢者疑似体験などを通して障害者や高齢者についての理解を深める講座）を開催するにあたり、児童が安全に体験を進められるよう見守りボランティアとしてサタデーズの皆さんに協力をお願いしました。

次ページへ続く

「本来の活動の見通しも立たなかった中で、社協から声をかけてくれたことはとても嬉しかったです。平成20年に社協が開催した福祉教育のサポーター養成研修会の資料を見直して、車いすの扱い方や高齢者疑似体験について再度勉強しましたよ」と沖田さん。「実際に小学校へ行って児童のみんなと触れ合いながらメンバーも楽しく活動ができました。やっぱりボランティアっていいですね。こんなに元気をもらえるんですから」と満面の笑顔でお話してくれました。

家族ぐるみの付き合いが継続の秘訣

取材をさせていただいた時に、サタデーズのこれまでの活動場面の写真を拝見させていただきました。20年前の活動でも、まるで昨日の出来事のように話す沖田さん。「サタデーズの特徴は仲の良さなんです。もう27年も一緒に活動していますし、メンバーは本当の家族のような関係ですから、ここまで長く続けられたんだと思います」と継続の秘訣も教えていただきました。

「自分1人では何もできないかもしれないけれど、体が動くうちはメンバーと一緒にみんなのお役に立てることがあれば何でもやっていきたいです」と力強く今後の活動についてお話いただきました。

サタデーズは現在新規のメンバーの募集はしていませんが、活動については随時募集をしています。高齢者や障害者施設などボランティア協力依頼のご希望がある場合は下記までご相談下さい。
お問い合わせ先：神栖本所 ボランティアセンター 電話：0299-93-1029 (担当：出口)

かみすボランティア体験月間2022

神栖市社協の夏休みイベント『ボランティア体験月間』では、3つの体験（ベルマーク仕分け・点字・バルーンアート）を用意し、多くの小学生や保護者の方々にご参加いただいております。ボランティア活動について学び、新たな“発見”や“学び”ができる体験です。夏休み後半に開催予定の、ベルマーク仕分け体験とバルーンアート体験に参加してみませんか。

募集中

ベルマーク仕訳体験

日時：8月18日（木）10時～12時

場所：保健・福祉会館

新館2階 交流サロン

定員：5名（要事前予約）

内容：ベルマークの仕分け、点数集計

協力：鐘（ベル）の会



バルーンアート体験

日時：8月23日（火）13時～15時

場所：保健・福祉会館

新館2階 交流サロン

定員：10名（要事前予約）

内容：バルーンで花や動物などを作ります

協力：バルーンアートwa' mくる

残りあとわずか



※ボランティア体験は、新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を行い実施しています。

●お問い合わせ・申込先：神栖本所 ボランティアセンター 担当：出口 電話：0299-93-1029

開催した体験プログラム

■点字体験（7月29日）



協力：ひとみの会



■ベルマーク仕分け体験（8月4日）



協力：鐘（ベル）の会

参加者から「点字やベルマーク、ボランティアについて学べて楽しかった」「また親子でできるプログラムがあれば参加したいです。」との感想をいただきました。

本会ホームページには市内の登録グループ情報も掲載していますので、ぜひご覧ください。“登録グループについてもっと詳しく話を聞いてみたい”、“活動場面を見学してみたい”などのご相談も随時受け付けていますので、ボランティアセンターまでお問い合わせください。

自宅や職場で“収集ボラ活動”を始めてみませんか

新型コロナウイルス感染防止の観点から、ボランティア活動自体が少なくなっています。そうした中で、コロナ禍でもご自宅や職場で簡単に始められる『収集ボランティア活動』をご紹介します。以下の物品寄付は、神栖市社協で随時受け付けていますので、できることから始めてみませんか。

■使用済み切手やカード

(テレホンカード、図書カード、クオカード等)



使用済み切手やカードは、茨城県社協に集められ専門業者等が買い取り、そのお金は茨城県ボランティア基金に積立てられ、県内のボランティア活動支援に活用されます。切手の周囲5～10mmの余白を残し切り取ります。

■書き損じはがき

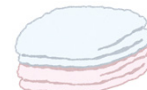
(通常のハガキ、年賀はがき等)



神栖市社協に集められたハガキは使われなくなった車いすを修理再生し車いすが不足している国々に贈る“空飛ぶ車いす”活動を支援する(財)日本社会福祉弘済会に送られ、切手に交換されます。その切手を協力企業が購入、換金され、修理部品代や輸送費に活用されます。

■タオル、布(未使用のもの)

市内の障害者施設へ送られ、雑巾や巾着袋などの製品へ加工・販売されます。その収益が利用者の報奨金や施設の活動資金となります。タオルには柄や会社名等が入っていても受付け可能です。



■きずなBOXへの寄付

神栖市社会福祉協議会は、NPO法人フードバンク茨城と連携し、気軽に食品を寄付できる「きずなBOX(食品収集箱)」をボランティアセンターと波崎支所に設置しています。お寄せいただいた食品は生活困窮者自立支援や社会福祉施設等で活用されます。

【ご寄付いただきたい食品】

缶詰、インスタント麺、パスタ・うどん・そば等の乾麺、レトルト食品、災害備蓄品など常温保存が可能で未開封、消費期限が2ヶ月以上残っているもの(回収してからお渡しするまでの期間を考慮しています)。

※お米の寄付については、事前にご相談ください。



【きずなBOX】



★ボランティアセンター入口には使用済み切手やベルマーク、書き損じはがきの収集箱、きずなBOXを常設しておりますので、気軽に寄付ができます。ぜひご協力ください。

※その他ご寄付に関するお問い合わせは下記までご連絡ください。

◇問合先 神栖市社協ボランティアセンター

神栖本所(市保健・福祉会館 新館2階)

電話: 0299-93-1029 (担当: 出口)

波崎支所(市はさき福祉センター内)

電話: 0479-48-0294 (担当: 乳井)

市民参加の助け合い活動「ういるかみす」に参加しませんか？

「ういるかみす」は、高齢者・障害者世帯等で、「ちょっと誰かに手伝ってほしい」という“利用会員”と、掃除や買い物、外出時の支援などをする“協力会員”による会員制の住民参加型有償在宅福祉サービスです。現在、33名の方が利用し、12名の方が協力会員として活動しています。

■ういるかみすのしくみ

利用会員：市内にお住まいで、お手伝いの必要な高齢者や障害者世帯等。

協力会員：ういるかみすの趣旨を理解し、ご協力いただける方。特に資格等は必要ありませんが、**下記養成講座**を受講していただく必要があります。

■利用料金（協力会員報酬）

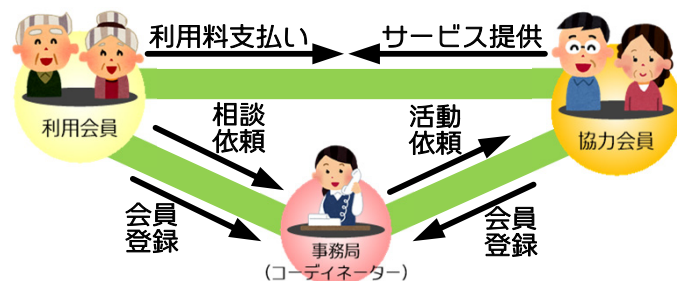
午前9時～午後5時 **1時間 700円**

その他の時間帯 **1時間 800円**

※利用毎に別途交通費200円が発生します。

※日曜・祝祭日及び年末年始は休みです。

■会員制 利用会員・協力会員ともに年会費1,000円



■サービス内容

- ・ 買い物の代行、掃除、洗濯、お話し相手
 - ・ 外出時の付き添い（通院や買い物）
 - ・ 庭木のせん定、草取り、簡単な日曜大工
- ※協力会員の車には乗車できません。
※原則、介護保険等の制度利用が優先です。

参加者募集

「ういるかみす」協力会員養成講座を開催します

今回ういるかみす協力会員として活動いただけるよう講座を開催します。一人暮らし高齢者や障害者世帯のちょっとした支援に協力していただける方、庭木のせん定や日曜大工など自分の特技を有効活用したいと考えている方の参加をお待ちしております。

■日 時：令和4年**9月21日（水）** 午後1時30分～午後3時

※当日は動きやすい服装でお越しください。

■場 所：神栖市保健・福祉会館 新館 2階 交流サロン

■定 員：10名(先着順) ※参加費は無料です。

■内 容：

午後1時30分～1時40分 ういるかみすの活動紹介

午後1時40分～2時40分 『安全な車いすの操作方法』 講師：介護福祉士

午後2時40分～3時00分 現在活動している協力会員による講話～一緒に活動してみませんか？～

■新型コロナウイルスの感染拡大の状況によっては講座の開催を中止させていただく場合があります。



車いす講習の様子

協力会員の声



活動を始めて10年が経ちました。活動を通じ、たくさんの方と出会えました。通院の付き添いも利用会員さんと世間話をしながら楽しく活動させてもらっています。

利用会員の声



一人暮らしになり、庭の手入れが大変になりましたが、協力会員さんが丁寧に作業してくれるので安心してお任せできます。なるべく住み慣れた家で過ごしていきたいので、これからお願いしたいです。

■問合せ・申込先 神栖本所 ボランティアセンター TEL：0299-93-1029（担当：出口）